

第6 献血の状況

滋賀県における令和4年度の献血受付数は、全血献血・成分献血ともに目標数を達成しなかったものの（達成率97.3%）、対前年度比は104.6%と増加しました。

献血は16歳からできますが、若年層（10代～30代）の献血者数が減少傾向にあります。下記の表のとおり滋賀県の10代～30代の献血率は全国平均より低い状況にあります。若年層の献血経験者が少ないと、将来的にさらに献血率が下がる可能性があるため、特に高校生・大学生等に対する啓発活動が重要となっています。

このため、各市でも献血思想の普及啓発を進めるために、「愛の血液助け合い運動」（7月1日～31日）や「『はたちの献血』キャンペーン」（1月1日～2月28日）を中心に広報活動等を実施しています。

令和4年度 献血受付者数および献血者数 全血献血・成分献血内訳

区分	全血献血				成分献血			
	献血受付者の目標数 (a)	献血受付者数 (b)	達成率 (b/a)	献血者数	献血受付者の目標数 (a)	献血受付者数 (b)	達成率 (b/a)	献血者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)
県全体	51,040	49,532	97.0	42,621	11,270	11,124	98.7	10,543
甲賀市	2,680	2,229	83.2	1,919	—	—	—	—
湖南市	1,660	1,384	83.4	1,232	—	—	—	—

令和4年 年代別 献血率・構成比

区分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
献血率※	滋賀県	4.3%	4.7%	4.8%	6.4%	8.5%	4.2%	5.8%
	全国平均	4.8%	5.5%	5.4%	6.8%	8.5%	4.1%	6.1%
構成比	滋賀県	4.7%	12.9%	14.4%	25.0%	29.9%	13.1%	—
	全国平均	4.4%	14.1%	15.2%	24.4%	29.4%	12.6%	—

※献血率は、年代別の人口に対する献血者の人数比率

[全血献血と成分献血について]

献血には、全血献血と成分献血があります。全血献血（採血基準は、400mL献血が男性17歳～69歳・女性18歳～69歳、200mL献血が16歳～69歳）は、血液中の全ての成分を献血していただく方法です。成分献血は、成分採血装置を使用して血液中から血漿や血小板といった特定の成分だけを採血し、残った赤血球は再び体内に戻す献血方法です。成分献血は身体への負担が軽く、全血献血に比べて血漿や血小板成分をより多く献血していただけるという特徴があります。